

比較日本学教育研究センター研究年報 第5号 目次

《巻頭言》

森山 新	3
------	---

《第10回国際日本学シンポジウム》

セッションⅠ 人類・食・文化

古瀬奈津子	セッションⅠ「人類・食・文化」概要	5
フランソワーズ・サバン	食物、人間、そして神聖なるもの	9
マクシム・シュワルツ	農業害虫の生物的防除 —パスツールから遺伝子組み換え作物まで—	37
シャルロット・フォン・ヴェアシュア	古代日本人は米をどれくらい食べていたか？	53
香西みどり	日本の米と食文化	63
増田 昭子	雑穀の社会史 — 「農と食」の多様性文化をめざして—	75

セッションⅡ 源氏物語の千年—日本と欧米における源氏絵の旅—

ロール・シュワルツ＝アレナレス	源氏物語の千年 —日本と欧米における源氏絵の旅— 趣旨	85
清水婦久子	源氏物語の絵画性	91
原山絵美子	『源氏物語』竹河巻 「手にかくる」歌と「むらさきの」歌について—松にかかる藤—	99
エステル レジェリー＝ポエール	フランスにおける『源氏物語』の受容	109
渡辺 雅子	源氏物語イメージの美術史的研究活動	119
平野由紀子	源氏物語の千年—日本と欧米における源氏絵の旅— 総括	123

《センター主催公開講演会》

アニック・ホリウチ	近世日本の知のネットワーク —「魯西亜（ロシア）」関連の言説を通して—	127
Amanda. C. Seaman	Two For One —現代日本女性文学におけるアイデンティティとしての妊娠—	135
坂本 満	南蛮屏風をよむ	145

《研究論文》

森山 新	日本語の言語類型論的特徴がモダリティに及ぼす影響 —グローバル時代に求められる総合的日本語教育のために—	147
ロール・シュワルツ＝アレナレス	ガストン・ミジョンとルーヴル美術館の中の日本 —知と技の継承、融合、変革—	155

《センター活動報告》

センター活動報告	171
研究プロジェクト活動報告	176
センター規則	187
投稿規程	190
第11回国際日本学シンポジウムのお知らせ	191
バックナンバーのご案内	192
編集委員より	193

国際日本学シンポジウムの論文タイトルは、発表時と一部変更がありました。

タイトルは、著者の方、翻訳の方の原稿通りに掲載しました。

一部、表記などを編集の都合上、森山センター長、高崎編集委員の責任で統一しました。